

令和 8 年度 第 1 回東広島市地域公共交通会議 議事録

会議内での発言については、逐語録ではなく要約しております。

1. 日時

令和 8 年 6 月 2 9 日（月） 1 4 : 0 0 ～

2. 場所

東広島市役所 北館 2 階 会議室 2 0 1

3. 出席者

塚井会長、重光副会長、山口委員、見崎委員、吉崎委員、福本委員、山田伸二委員（代理：山田章夫事務局長）、本藤委員、吉田委員、佐久間委員、片山委員、田尻委員、鶴田委員、藤本委員（代理：古川専門官）、西川委員（代理：山中主任）、水本委員（代理：平田主任）、大月委員、台信委員（代理：三村交通政策統括官）、多賀委員、亀岡委員

4. 議事次第

1 開 会

2 審議事項

- (1) 令和 7 年度東広島市地域公共交通会議決算（案）について
- (2) 地域公共交通計画（東広島市都市交通計画）における令和 9 年事業年度地域公共交通確保維持事業に係る計画の策定について
- (3) 黒瀬さくらバスの経路変更等及びダイヤ改正について

3 報告事項

- (1) 地域公共交通（豊栄そよかぜ号）の運行改善について
- (2) 令和 8 年度夏休みに合わせた路線バス小児運賃割引について
- (3) 運賃分科会での審議結果について

4 その他

- (1) MOBIRY DAYS リーダによる、交通系 IC カード（ICOCA 等）および WAON の取扱開始について

5 閉会

審議事項（１）令和７年度東広島市地域公共交通会議決算（案）について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○塚井会長： 歳入について確認したい。負担金はプロジェクトや交通会議の運営に係る経費であり、補助金は東広島市が主体となって運行しているコミュニティバス等に対する補助金という整理でよいのか。また、負担金が０円となっている黒瀬地区共創型交通プロジェクトについては、当初は今年度で完了予定だったと認識しているが、計画どおりに進まなかったということか。

○事務局： 認識の通りである。地域公共交通確保維持改善事業というのは、資料２ページに記載の路線バスやおまるめ山バスなどに対する国の補助金を歳入として受け入れ、同額を歳出として計上している。黒瀬地区共創型交通プロジェクトの負担金が０円になっている点については、黒瀬地区を走る路線バスと広島国際大学のスクールバスが並走している状況に対し、地域住民と連携して共創という形で業務を発注している。現在、各運行事業者や国際大学との協議に時間を要しており、当初予定から若干調整が長引いているため、引き続き今年度も調整を継続している。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

○全員 <なし>

○塚井会長： それでは、審議事項（１）令和７年度東広島市地域公共交通会議決算（案）について本会議にて合意したものとみなしてよろしいか。

○全員 <異議なし>

○塚井会長： 本審議事項については、合意したものとす。字句等の修正については、会長に一任いただきたい。

審議事項（２）地域公共交通計画（東広島市都市交通計画）における令和９年事業年度地域公共交通確保維持事業に係る計画の策定について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○福本委員： 資料に記載されている令和９年度の目標値について伺う。現状の実績と目標値にどの程度の乖離があるか。現状維持で目標を立てているのか、それとも若干の増加を見込んでいるのか。

○事務局： 西条地域の『のんバス』に関しては、現状維持を目標としている。その他の各地域の交通については、地域が設定した目標値に基づいて算出している。概ね、実績よりも少し高い（若干増の）目標を設定して年間事業を推進していくというのが、地元の運行協議会での一般的な設定方法となっている。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

- 山口委員： 各地域において、地域住民とどのような対話や議論を経て今回のアウトプット（計画）に至っているのか。また、地域の方と対話されている中で感じられる温度感を教えてほしい。
- 事務局： 地域とは月 1 回程度、協議会等を実施している。その中で利用状況の共有をし、そこで出た課題について意見交換をし、解決へ向けて進めている状態である。
- 塚井会長： それぞれの地域は運行開始からどれくらいの期間協議されているか。
- 事務局： 期間については地域により異なり、市街地循環線の『のんバス』は平成 29 年から、黒瀬の『さくらバス』は平成 26 年から運行開始であるが、それ以前から協議している。小谷の『おまるめ山バス』に関しては、運行開始が令和 5 年であるが、運行開始の 1 年以上前から協議している。志和ホテル交通も同じような時期から協議を重ね、令和 5 年度末に運行を開始している。
- 山口委員： 継続的に地域の方と議論していただきたい。
- 塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。
- 全員 <なし>
- 塚井会長： それでは、審議事項（2）地域公共交通計画（東広島市都市交通計画）における令和 9 年事業年度地域公共交通確保維持事業に係る計画の策定について本会議にて合意したものとみなしてよろしいか。
- 全員 <異議なし>
- 塚井会長： 本審議事項については、合意したものとする。字句等の修正については、会長に一任いただきたい。

審議事項（3）黒瀬さくらバスの経路変更等及びダイヤ改正について

- 事務局： <資料説明>
- 塚井会長： ご意見、質問などはあるか。
- 塚井会長： 黒瀬さくらバスの地域での検討状況や、課題を教えてください。
- 事務局： 黒瀬さくらバスの状況としては、目標値が 3.2 人／便に設定されており、実際は 3.0 人／便ぐらいであるが、地域の声も取り入れつつの運行改善なので、地域とコミュニケーションを取っている。課題は、利用目標が達成できていない系統もあり、その利用促進が課題である。
- 塚井会長： 黒瀬地区共創型交通プロジェクトには直接関係がないのか。
- 事務局： 黒瀬地区共創型交通プロジェクトで、今回審議されている内容は、黒瀬さくらバスに直接関係するものではない。
- 塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。
- 全員 <なし>
- 塚井会長： それでは、審議事項（3）黒瀬さくらバスの経路変更等及びダイヤ改正につ

いて本会議にて合意したものとみなしてよろしいか。

○全員 <異議なし>

○塚井会長： 本審議事項については、合意したものとする。字句等の修正については、会長に一任いただきたい。

報告事項（１）地域公共交通（豊栄そよかぜ号）の運行改善について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○吉崎委員： 予約方法について、これは電話のみの受付となるのか。また、運賃は基本運賃 500 円で、決まったエリア内だと安くなるといった理解でよいか。

○事務局： 予約方法に関しては、現在のところ電話での予約を想定している。運賃については、豊栄地域の中心部は運賃 300 円といった割引を行って運行する予定であるが、こちらに関しても今後さらに議論を重ねていく必要があると考えている。

○吉崎委員： 他の協議会で乗り合いタクシーを運行している自治体において、利用者にアンケートを取ったところ「電話での予約が面倒だ」という回答が想定より多かったとのことがあったので質問させていただいた。

○塚井会長： 事前の聞き取りで「電話で問題ない」と答えている方に対し、最初から他の方法について尋ねるのも不自然である。そのため、まずは電話での受付から開始し、より簡便な方法があるかどうかも含め、実際のニーズの有無は今後の検討課題としたい。

○見崎委員： 運行エリア上には幹線系統として豊栄～西条線が存在するが、そちらとの関わりをどう考えているか。フィーダー系統としての想定をしているのかを伺いたい。

○事務局： 基本的には既存のバス停までの運行等を考えている。その他、商業施設へのアクセスも考慮しており、既存の交通の営業へ影響を与えることはないと考えている。既存のバス停に対するデマンド交通として想定しており、引き続き議論を進めていきたい。

○塚井会長： 基本となる経路があり、フルデマンドでどこでも行けるというものではないという状況か。

○事務局： 特定の経路は設定していないが、自宅から乗車し、目的地として既存のバス停やショージ、地域センターなどを何箇所か設けており、定路線ではないという状態である。

○見崎委員： 区域運行に関しては、すでに志和で運行を開始しているが、そこでも路線バスとの関係性において課題が生じている。豊栄がモデルとなって他地区へ

波及させていくのか、それぞれの取り組みの長所や改善点を共有しながらより良いものを作っていくのか、今後も注視していきたい。

○塚井会長： 路線の重複は常に課題となる部分である。基本的に「利便性の向上」と「既存路線との競合回避」は両立しがたい側面があるが、かといって移動の用をなさないような交通機関になっては本末転倒である。そこは事業者の方々としっかり協議を行いながら進めていただきたい。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

○全員 <なし>

報告事項（２）令和８年度夏休みに合わせた路線バス小児運賃割引について

○平田代理： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○塚井会長： 自由研究パンフレットの一部を切り取るということは、片道１回５０円ということになるのか。

○平田代理： 厳密に言うと、パンフレットと一枚物のチラシを用意している。チラシの一部を切り取ると名刺の倍ほどのサイズになり、それを名札ケースなどに入れてもらう形を想定している。運賃箱に投入するのではなく、乗務員に提示することで期間中に複数回使える仕組みである。

○塚井会長： 半券などで利用実績をカウントするのかと思ったが、今回は利用実績の把握は見送るという認識でよいのか。

○平田代理： 今回は初めての取り組みであり、非常にタイトなスケジュールで進めている。来年度以降も継続して取り組むことになれば利用実績を把握する必要があるため、次年度以降にデータを把握できるよう現在検討中である。

○塚井会長： 何もかも一度に行うのは不可能であり、実績把握に多大なコストがかかっては元も子もないため、費用対効果のバランスが重要になる。ちなみに、これは東広島市が運行しているコミュニティバスにも関係してくるのか。

○事務局： コミュニティバスについては、スケジュールがタイトであったため、今年度は見送らせていただいた。次年度以降も継続して取り組みが行われるようであれば、各運行協議会と相談しながら連携して取り組んでいきたい。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

○全員 <なし>

報告事項（３）運賃分科会での審議結果について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○吉崎委員： 夏休みの小学生５０円バスについては、次年度以降はイベントによる軽微な

事案として処理可能とのことだが、今回 50 円としている割引方法や、運賃額自体が変更になる場合は、改めて協議が必要になるという認識でよいか。

○古川代理： この件に関して明確な先例があるわけではないが、今年は 50 円、次年度は 100 円といった形で自由に変更できてしまうと運用の整合性が取れなくなるため、変更が生じるのであればその都度、本会議等で協議をしていただきたいと考えている。

○塚井会長： あまり前例がないため参照しづらい部分はあると思うが、今後の実績が積み上げれば運用方法のガイドラインができてくると思う。現状としては、金額が変わる場合は協議を行う可能性が高い。このように運賃分科会での協議手続きは若干簡素化されるが、審議の趣旨などが変わることはない。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

○全員 <なし>

その他(1)【MOBIRY DAYS リーダによる、交通系 IC カード(ICOCA 等)および WAON の取扱開始について】

○見崎委員： <資料説明>

○塚井会長： ご意見、質問などはあるか。

○福本委員： MOBIRY DAYS 決済機において、ICOCA や WAON をタッチする際、MOBIRY DAYS と比較して若干時間がかかってしまう。「ありがとうございます」という音声が出るまでしっかりタッチをしていただく点が注意点となる。

○塚井会長： システムが統合されて便利になるということは喜ばしいこと。ぜひ利用してみていただきたい。

○塚井会長： その他ご意見、質問などはあるか。

○全員 <なし>

○塚井会長： それでは、これをもちまして、本日予定されていた議事等は、全て終了した。委員の皆様には、会議の円滑な進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。以上で、令和 8 年度第 1 回東広島市地域公共交通会議を終了する。

以上